

会社名：日本マイクロソフト株式会社

受賞：テクニカル部会賞

Edgecross-Microsoft Azure連携実現

1. 工場Floorのデータ収集はEdgecrossで！クラウドで集約、可視化はAzureで！容易に
2. データ蓄積・集計・分析を低コスト/短期間に構築
3. セキュリティ対策もエッジ/クラウド両方のハイブリッドで防御！
4. クラウド上のサービスをエッジでも利用可能！



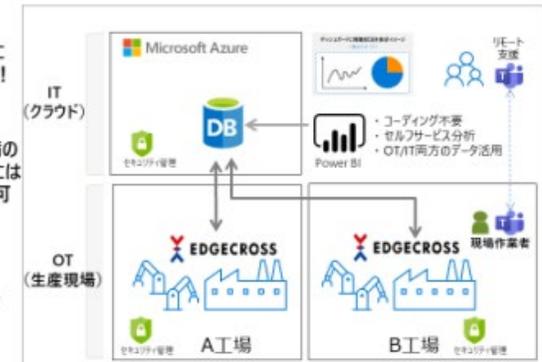
日本マイクロソフト株式会社
Microsoft Azure
 Edgecross & Microsoft IoT サービス連携



製品特長

- 複数工場/ラインを簡単に可視化
生産ラインはもちろん、工場全体/複数工場の稼働状況を簡単に可視化し、稼働データの蓄積も容易。画面のカスタマイズも簡単！
- 複数工場/ラインの全記録データを総合的に分析
IT（クラウド）活用により、各工場/生産ラインにおける生産設備の振る舞いを総合的に分析し、全体の改善活動に！データベースにはリアルタイム/過去データがあり、BIツールから簡単に確認/分析も可能
- Edgecrossデータ+人的作業のリモート支援
セキュリティ防御しつつ、工場・フィールドの現場従業員のリモート支援も可能。Post/After COVID-19の工場管理に対応！

概念図



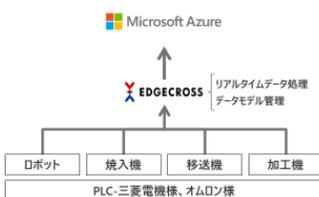
https://www.edgecross.org/ja/product/edge/it_system002.html

Edgecross-Azureでの遠隔モニタリング例

活用例：Edgecross + Microsoft Azure連携



1. IIFESにてEdgecross様連携を展示
2. Edgecross基本ソフトウェアにて収集したデータをAzureにMQTT配信
3. Azureクラウドサービス上で稼働状況を遠隔モニタリング



ハイブリッドなセキュリティ対策例

Edgecross連携の拡張 -1



- セキュリティ対策もエッジ/クラウド両方で実現

クラウドは勿論、エッジやオンプレミス等のセキュリティ対策が簡単に実現



Edgecross連携の拡張 -2



- リモートモニタリング以外の拡張性をAzure IoT Edgeが実現！！
- 多くのAzure ServiceをOT（エッジ）にて稼働可能 - 画像データ等も処理

